

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まちなかドレスアップ事業
事業主体 (連絡先)	大町市 (産業観光部商工労政課)
事業区分	1 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	741,424 円 (うち支援金: 517,000 円)

事業内容

平成24年度に引き続き、市、協議会、商店街と連携し、空き店舗にとどまらず、営業店舗にものれん設置を拡大し、まちなかのイメージアップをさらに高め、商店街への集客につなげ、魅力ある「まち」づくりを進めていく。また、竹等を活用したあかりについては、街路地に常設するなどし、年間を通して活用することにより、暗い時間帯での回遊性を高める。

- ・のれん設置事業: 20箇所
- ・竹灯設置: 200個



事業効果

のれんや竹等を活用したあかりの装飾により、まちなかのイメージアップを図り、回遊性を確立することで来街者の増につなげ中心市街地の活性化が図れた。

- ・中心市街地3地点の歩行者・自転車通行者(市調査)
平成24年度:512人⇒平成25年度:552人 8%増
- ・2/11あめ市参加者(延人数:推計)
平成24年度:5,500人⇒平成25年度:6,000人 9%増

・のれん巡りウォークラリーの開催: のれんを巡っていただくスタンプラリーを実施し、より多くの方にのれんを知っていただくきっかけとなった。

・聞き取り調査の実施: 商店街からは景観が良くなった、イメージアップが図れた等の意見があった。観光客からは様々なのれんがあり楽しめる。あめ市などのイベント時だけでなく、のれん巡りを実施したらどうか等の意見があった。

※1 自己評価(事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 市街地への観光客の誘導
- 街並み景観の向上
- まちなかの賑わい創出

今後の取り組み

- ・平成23年度から実施している荷ぐるま市の継続実施。
- ・引き続き営業店舗等へ、のれんを設置して店舗を飾り付け街並み景観の向上を図る。
- ・平成25年度試行的に行った、「おおまちバル」を他に開催されるイベントと併せ、年3回程度開催し、まちなかの回遊性を確立する。

※2 自己評価(事業効果) 【 B 】

※1 自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある